

GCSFベルトシステム

すべての格闘技を、一つの連盟に

修行者のためのガイド

Global Combat Sports Federation ・ キックボクシング ・ ムエタイ ・ 日本柔術 ・ サバット ・ MMA
globalcombatsportsfederation.com

今回初めて、キックボクシング、ムエタイ、MMAは、実際の競技レベルに直接連動した、統一されたプロフェッショナルな級位制度を持つことになりました。GCSFベルトシステムは、すべての等級を、初心者から上級者までを網羅する国際的に認められた競技段階に対応させています。つまり、あなたのベルトは単なる飾りではなく、いつ、誰を相手に戦う準備が整っているのかを正確に示すものです。本ガイドでは、その段階制度、各審査の内容、費用、そして登録方法について説明いたします。

一言でいえば

あなたのGCSFベルトは、競技への準備が整っていることを示す正直な証です。リングに立つための基準を定め、すべての競技者が自身の真の実力に見合った相手と対戦できるようにするものです。

私たちについて

オランダの格闘技のノウハウによって築かれた世界的連盟

Global Combat Sports Federation（GCSF）は、キックボクシング、ムエタイ、日本柔術、サバット、MMAを一つの枠組みのもとに統合する世界的統括団体です。一つの連盟、多様な種目、そして国境なし。GCSFは、現代のヨーロッパ格闘技の礎を築いた人々によって率いられています。

リーダーシップ

Thom Harinck

会長

オランダのキックボクシングおよびムエタイのパイオニアであり、Chakuriki Gym Amsterdam（1978年設立）の創設者。Branko Cikatic、Peter Aerts、Badr Hari、Lucia Rijker、Andy Souwerなど、世界レベルの選手を指導。50年以上にわたり、この競技の中心に身を置いてきました。

Johan Vos

副会長

オランダを代表するキックボクシング指導者であり審査の権威者。技術開発と標準化の中心的存在で、数十年にわたるジム経営とコーチングの経験を有します。

Rion G. O. Rijker

事務局長

連盟の運営、段位登録簿、会員サービスを担当。

HarinckとVosは、1970年代から80年代にかけて生まれた本格的なオランダ式キックボクシングの伝統を共に受け継ぎ、それを現代の、競技を軸とした級位制度の中に体系化しています。

なぜキックボクシングにベルトシステムが必要なのか

キックボクシング、ムエタイ、MMAは、正式な級位制度を持たずに発展してきました。地位は戦績やジムの名声によって決まっていました。数十万人が実践する一方で、そのほとんどが競技にはほとんど、あるいは全く出場しないこの競技において、それは現実的な課題を残していました。

- 初心者が早すぎる段階で競技に出場することを防ぐ**基準**がない。
- 初回レッスンからリングに立てる状態までの構造化された**段階的な指導体系**がない。
- レクリエーション会員が自身の**成長を実感**する方法がない。
- 指導者やコーナーに立つ人々に対する**質の基準**がない。

この競技における初の試み

GCSFは、キックボクシング、ムエタイ、MMAに対して、初心者から上級者までを網羅する国際的に認められた競技段階（ノービス、中級、上級）と直接連動した正式なベルトシステムを導入する、世界初の連盟でございます。これにより、成長、安全性、競技がついに同じ基準で語られるようになりました。

ベルトとクラスの対応表

あなたのベルトが、いつ、どのクラスで戦う準備が整っているかを示します

これはキックボクシング、ムエタイ、MMA、サバットにおけるGCSF制度の核心部分でございます。各色帯は、国際的に認められた競技段階（**ノービス**、**中級**、**上級**）の各段階に対応しています。競技への出場は橙帯以降のみ許可されており、これは本制度における最も重要な安全規則でございます。

帯（級）	競技	競技レベル	プロフィール
白帯	出場不可	-	初心者、最初の3-6か月。
黄帯（5級）	出場不可	-	基礎技術習得期、6-12か月。
橙帯（4級）	ここから出場可能	ノービス	初出場、18歳以上。
緑帯（3級）	継続中	ノービス → 中級	ノービスレベル3勝後 → 中級レベルへ。
青帯（2級）	継続中	中級	経験豊富なアマチュア。
茶帯（1級）	継続中	中級	中級レベル6勝後 → 上級レベルへ。
初段（黒帯）	継続中	中級 → 上級	中級レベル8勝後 → 上級レベルへ。
二段（黒帯）	継続中	上級 / プロ	完全に成熟した競技者。

橙帯という基準

GCSFの方針は明確です。競技への出場は4級（橙帯）以降のみ許可されます。これにより、誰もが戦う前に最低限の技術的基盤を備えることが保証され、経験の浅い競技者を守ります。これは連盟における安全性の中核的な柱です。



白帯・スタート

すべての新しい修行者の出発点。



5級・黄帯

最初の等級。スタンス、フットワーク、基本動作。



4級・橙帯

競技出場の基準。ノービスレベルへの出場が可能に。



3級・緑帯

技術の定着期。ノービスレベルから中級レベルへの移行期。



2級・青帯

中級レベル。高度な技術とスパーリング。



1級・茶帯

中級レベル。フルコンタクトへの出場資格。



初段・黒帯

中級レベルから上級レベルへ。最低4年間の練習が必要。



二段・黒帯

上級レベル／プロ。公式刺繍入り黒帯を授与。

日本柔術：独立した体系

独自の技術段階制度を持ち、競技クラスは設けない

日本柔術は、打撃系の種目とは一線を画しています。他の種目で用いられる競技レベルには対応していません。その代わりに、護身術、相対稽古、技術の習熟を軸とした独自の技術段階制度に従います。ここでの帯は技術レベルを示すものであり、競技経験を示すものではありません。

これが意味すること

- 同じ色帯が成長の段階を示しますが、これはリングでの実戦準備ではなく、技の制御と習熟を証明するものです。
- 審査は防御技・制圧技、相手の安全確保、正確な技の実行に重点を置きます。
- 競技レベルへの言及はありません。日本柔術は独自の評価体系を持ちます。

少年部（ジュニアプログラム）と成人の違い

少年部：ジュニアプログラム（18歳未満）

- 茶帯までの独自の級位進級制度（色は同じ）。
- 18歳未満は黒帯を取得できません。**
- 頭部への技は禁止（国際的な青少年安全基準に準拠）。
- 14歳未満はローキック禁止、12歳未満は膝技禁止。
- ヘッドガード、レガース、マウスガードの着用が必須。
- ジュニアプログラム規則に基づく独自の少年部試合。

成人（18歳以上）

- 級・段位の完全な進級制度。
- 橙帯（ノービスレベル）以降、競技に出場可能。
- 初段は最低4年間の練習を経て取得。
- 18歳になった少年部会員は、成人制度へ移行する前に、仮審査による再評価を受けます。

これが若い競技者を守る理由

少年部を茶帯までに制限し、18歳未満の頭部への打撃を禁止することで、成長過程の公正さと身体的安全性が保たれます。若い競技者は、年齢と等級に応じてコンタクトの強度が高まる前に、しっかりとした基礎を築くことができます。

段位審査

審査の内容と時期について

中央段位審査は年2回、4月頃と10月頃に、アムステルダムの規定会場で実施されます。審査委員会は、少なくとも3名の段位保持者で構成され、理事会メンバーが議長を務めます。

すべての審査で評価される内容

色帯から段位まで、審査は実技と学科の両方で構成されます。パンチ（ジャブ、ストレート、フック、アッパーカット）、キック（ロー、ミドル、ハイ。等級に応じて段階的に）、膝技（競技者は緑帯から）、フリーコンビネーション、**防御技およびカウンター技**、指導者とのパッドワーク、パワーとカーディオのためのバッグワーク、シャドーボクシング、そして各等級に応じた、コントロールされたコンタクトでの**スパーリング**です。学科では、各レベルの競技規則の該当部分、傷害予防、アンチドーピングに関する知識を扱います。全体を通じて、**精神性、規律、敬意、感謝**という4つの中核的価値観が示される必要があります。

等級	審査内容
初段	規定技6種・1級課程からの制圧技（オーバーナーム）6種の実演・体力測定（最低3ラウンドのスパーリング）・学科（国内連盟規則、スポーツ医学、GCSF行動規範）・4つの中核的価値観。最低年齢18歳、最低練習期間4年。
二段	規定技10種・実践的な護身状況を想定した制圧技8種の実演・2ラウンドにわたるスパーリング（複数種目の組み合わせ可）・短時間の指導実演（約10分）・学科（コーチングの役割、スポーツにおける安全性、少年指導法）。

二段：8つの制圧技

実践的な護身状況を想定したもので、いずれも攻撃を無力化し、制御を維持したまま、構えを保った状態でオープンスペースに移行して終わります。

1. バランスの崩し（前方／後方／側方からの押し。受け手が制御された状態で倒れる）。
2. 正面からの体つかみ。
3. 背後からの体つかみ。
4. 側面からの体つかみ。
5. 正面からの両手による首つかみ／クリンチ。
6. 背後からの両手による首つかみ。
7. 側面からの両手による首つかみ。
8. 複合状況における制圧技。このレベルで教わるタイミングの原則を応用する。

審査に合格すると、ベルト、認定証、そしてGCSF段位登録簿への登録が含まれます。これは、あなたの段位を証明する、国際的に認められた検証可能な記録です。三段以上は、GCSF理事会により実力に応じて授与されます。

公式刺繍入り黒帯

二段以降に授与

二段から、GCSFのエンブレム、あなたの名前、段位が刺繍された**公式刺繍入り黒帯**が授与されます。これは、GCSF指導者レベルであることを示す国際的な証です。

式典用ベルトの用途

- 昇段式典
- GCSF公式イベント
- 正式な場での自身の生徒への指導
- 競技会での選手のコーナーワーク

日常練習には使用しません

日常の練習では、通常の練習用ベルトを着用します。刺繍入りベルトを上記の機会のために取っておくことで、それが真の地位の証としての価値を保ちます。

指導者への道：インストラクター資格

二段（またはそれと同等であることが明確に証明される技術レベル）を有し、かつ5年以上のコーチング経験を持つ方は、**国際的に認められたインストラクター資格**（トレーナー・コーチレベル3）に設定され、連盟と各国の公認された国内連盟とのパートナーシップを通じてEQFレベル3相当として認定される、GCSFインストラクター資格の取得を目指すことができます。

3つの実務能力証明

1. 練習の準備と実施。
2. 競技者およびグループの指導。
3. 競技およびスパーリングのコーチング。

その他の必須条件

- VOG（無犯罪証明書）
- 応急処置／AED資格
- GCSF行動規範への署名

コーナーに立つ権限

資格保持者は、自身の指導する競技者について**ノービスレベル**および**中級レベル**の試合でコーナーに立つことができます。**上級レベル**でのコーナーワークには、二段に加えて資格の取得が必要です。資格保持者は級位審査を実施し、すべての色帯（段位を除く）を授与することができ、また、VOGが有効であれば少年部の指導も行えます。

中央研修と活動地域

世界で認められる、年2回の必須イベント

中央研修：年2回

GCSFは、アムステルダムの規定会場にて**年2回の中央研修**を実施しています。開催の少なくとも3か月前に告知され、すべての段位保持者に参加が義務付けられています。

- 春季中央研修**：技術のアップデートとルールの復習。
- 秋季中央研修**：指導法、スポーツにおける安全性、年次段位審査への準備。

これらと並行して、**段位審査も年2回**実施されます（4月頃と10月頃）。指導者にとって、中央研修は継続教育の単位として認められます（年間最低20ポイント、中央研修1回につき8ポイント）。参加を怠った場合、正式な警告が発せられ、最終的には資格停止に至ることがあります。

ベルトシステムが競技をより安全にする理由

ベルトを国際的な競技段階に連動させることは、単なる制度上の仕組みにとどまらず、5つの具体的な方法で安全性を直接高めます。

- 橙帯という基準**：最低限の技術的基盤なしに誰も競技に出場しません。
- 帯・経験レベル・体重によるマッチメイキング**：より公平な組み合わせで、実力差の少ない試合を実現。
- 認定インストラクターによるコーナーワーク**：プロフェッショナルで、応急処置訓練を受け、身元審査済みのコーナー。
- レベルに応じた規則**：ラウンドの長さや許可される技はレベルに応じて段階的に変化します（下記参照）。
- 段階的なコンタクト**：頭部への膝技は上級／中級レベルのみ許可。18歳未満は頭部へのコンタクトを一切禁止（国際的なベストプラクティスに準拠）。

レベル	形式	コンタクト
ジュニア（少年部）	1分 × 3ラウンド	頭部へのコンタクト禁止。
ノービス	1.5分 × 3ラウンド	頭部への膝技禁止。
中級	2分 × 3ラウンド	技を制限。
中級（上位）	3分 × 3ラウンド	フルコンタクト可。
上級	3分 × 3-5ラウンド	すべての技（タイトルマッチ）。

世界各地におけるGCSF

GCSFは世界規模で活動しています。各国において、公認された国内連盟と提携しており、インストラクター資格の基盤となる国際的に認められた認定と、公式な承認を提供しています。GCSFは各国連盟との同様のパートナーシップを構築しており、あなたの等級と指導者資格はどこへ行っても有効です。

ファクトシート

費用、日程、登録方法

審査費用

すべての費用には、ベルト、認定証、GCSF段位登録簿への登録が含まれます。

審査	合計
色帯：少年部（5級／4級／3級）	€30
色帯：少年部（2級／1級）	€40
色帯：成人（5級／4級／3級）	€40
色帯：成人（2級／1級）	€55
初段（黒帯）	€175
二段（式典用ベルト込み）	€250
三段	€300
インストラクター資格（国際的に認められたインストラクター認定）	€450

GCSFの優位性

GCSFの審査費用は、他の主要な国際連盟と同水準です。GCSFはさらに明確な付加価値を提供します。各国連盟との提携による国際的に認められたインストラクター認定、二段からの刺繍入り式典用黒帯、中央段位登録簿への登録、そして加盟ジムへの収益還元です。

2×

年間の段位審査回数（4月・10月）

2×

年間の中央研修回数

4年

初段までの最低練習期間

登録方法

- 1 GCSF加盟ジムで練習し、次のベルトに必要な在籍期間を満たします。
- 2 指導者があなたを級位審査にエントリーするか、中央段位審査（春または秋）に登録します。
- 3 審査委員会の前で審査に合格すると、ベルトと認定証が授与されます。
- 4 あなたの段位はGCSF段位登録簿に記録され、世界中で検証可能となります。

